

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.19】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声をお届けしていきます。



こちらの方は、2人家族で小さめの機器のモニターです。

生ごみ処理機を使用するようになってからは、可燃ごみの排出方法そのものを見直すようになり、処理機を使用することによる生ごみの排出量の減量に加え、特に紙類・プラごみの分別をしっかりとすることにより、可燃ごみの排出量の更なる減量につながっているそうで、結果的に、これまで週に2回合わせて40リットルだった排出量が、16リットルにまで減量できているそうです。

月々の電気使用量については、ひと月あたり4～5kWh程度上昇しているそうですが、それ以上にごみの排出量の減量の効果を感じているそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をご参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp